

東海大学望星技術士会 役員会議事録 (HP 掲載用)

表 題	東海大学望星技術士会 令和7年度 第1回役員会 議事録	
1. 日時	2025年4月29日(土) 16:00~18:30	
2. 場所	Web会議 (Zoom)	議事録作成担当: 齋藤 寛
3. 出席者 (敬称略)	<p>【望星技術士会役員会】</p> <p>○役員 (会計監事を除く) 参加 10名、委任 9名、計 19名: 役員総数 22名 役員の出席・委任数が過半数を占めているので本会は成立した。(会則第18条の3)</p> <p>○会計監事 0名、オブザーバー 1名</p>	
4. 配布 資料	<p>(1) 令和7年度第1回役員会 討議事項会議次第</p> <p>(2) 令和6年度第11回役員会 (前回) 議事録</p> <p>(3) 令和7年度委員会報告: ①大学イベント運営委員会、②会員イベント運営委員会 (当日共有)、③会報編集委員会、④会計委員会 (今回なし)、⑤情報管理委員会 (今回なし)、⑥大議連・技術士会連絡委員会 (今回なし)、⑦令和7年度定期総会に向けた役割分担、⑧技術士第一次試験合格者への記念品 (案)、⑨座談会シナリオ (案)、⑩令和7年度定期総会進行シナリオ (案)、⑪役員人事案・委員会メンバー (案)</p>	
5. 確認・ 審議・報告 事項・その 他	<p>【確認事項】</p> <p>(1) 前回議事録内容は承認された。</p> <p>【報告事項・審議事項】</p> <p>(1) 委員会報告 (活動内容の報告と懸案事項の紹介) について 【報告事項】</p> <p>① 大学イベント運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会登録者の確認、目標の確認。 ・資料を基に令和7年度の活動計画案、予算計画案について報告があった。 <p>※昨年度実施した情報理工学部の出前授業を今年度どうするか前田先生と相談・調整が必要。</p> <p>※予算案は委員会で確認した後に会計に渡すこととする。</p> <p>② 会員イベント運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の修正資料を基に秋の防災シンポジウムの概要の説明があった。 内容については能登半島地震に拘らないが、これを事例としてパネラーや会場の意見を引き出したい。 ・パネラーは5つの領域 (建築・土木、機械・電子、情報系、水産系、実務者的視点 (望星技術士会等)) で話題提供を誘導したい (一人15分程度)。 ・上記話題提供を受けてパネラーと会場などの意見交換を行う (60分程度)。 <p>※7月の総会で予告を行うには、先生 (パネラー) をある程度決めておく必要がある。企画趣旨を整理して会長などに相談し、個別に先生方 (テーマに沿った答えをもっている先生など) をお願いする (GW明けに湘南Cに行く)。</p> <p>③ 会報編集委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布資料により編集計画・進捗状況の説明があった (未着手の原稿は連休中作成、査読は進行中)。 ・会員インタビューは来週実施。 <p>※望星技術士会の今後の予定は総会準備と連動して決まる</p>	

④ 会計委員会

※本日担当者欠席（次回5月役員会で会計報告・監査報告を固めたい旨連絡済み）。

⑤ 情報管理委員会

※大学のネット遮断の関係で動きはなし（Facebookは影響を受けていない）。

⑥ 大技連・技術士会連絡委員会

・報告事項はなし。

※日本技術士会との協定締結は懸案事項（総会準備を優先している）。

(2) 委員会報告を受けての懸案事項について【審議事項】

※特に無し

(3) その他

① 4/18 副会長・事務局グループ会議による協議内容

・総会準備について資料を基に報告があった。

・東海大学のネットワーク遮断について（内部からのメールの発信は可、外部からのメール受信は不可。状況によって夏休み頃まで影響が残る可能性あり）。

※総会で Web が使えない可能性がある。その場合、各個人の通信環境で接続を確保するなどが必要（一つの通信環境に多人数が接続すると通信速度が低下する）。

・開催案内、Web 評決、総会資料、会員紹介集、シナリオ（進行要領）、機材・音声テスト（リハーサル）、座談会準備、シンポジウム予告編、その他細かな準備（会報、CPD 参加票、領収書など）、ノベルティについて。

・総会当日の役割分担、教職員との調整（役割分担）、その他の連絡・調整先の分担。

※大学のネットワーク遮断により本会案内等の送信に用いる生涯メールアドレスも使用できないため、会員への資料の配信等は個人のメールアドレスを用いることになる。その際、大学のネットワーク遮断の旨書き添えるなど配慮。

※総会の会場参加者を多く呼び込むために多くの先生方（土木工学科以外の関係他学科も）に参加いただき、交流機会（リクルートなどを目的に）を事前に周知（声掛け）することを考える（参加者のリストを事前に配布、会話の時間確保など）。

※今年の座談会「望星技術士会の 10 年のあゆみ」も事前に周知することで会員を呼び込むコンテンツである。今後も多くの会員参加を呼び込む企画を考える。

・特別講演をお願いする木村先生には会長から再度確認していただく。対応いただけない場合の代替案が必要。

・ノベルティの案（ボールペン、名入れで 100 本 20000 円、ロゴは不可）。

※一人 1000 円～2000 円程度（合計 20000 円前後）の記念品とする。昨年度の技術士第一次試験合格者は人数が少なく（記念品贈呈対象者 9 名）、合計 20000 円前後の予算で検討できる（今後の合格者増の場合は再検討）。会計の予算案に計上することで決定。

※総会準備との兼ね合いでノベルティ担当者を決める。

・座談会「望星技術士会 10 年のあゆみ」の年表項目説明

※最初に 10 年間の出来事を通して説明するが 5 分程度とし、その後注目の出来事について当事者に語ってもらう。

② 令和 7～8 年度役員人事案

- ・資料を基に説明があった（委員会メンバー案、役員人事案）。
- ※副会長グループでは合意が取れている。本役員会で承認された。
- ※委員会メンバーは今後決めていく（新幹事の配置、参加など）。総会・役員会運営委員会は事務局が対応する。
- ※会計委員会の支援メンバーを考える。

（その他の発言）

- ※今後、会員による技術士第二次試験受験指導窓口をつくり、受験指導希望者へのマッチングの仕組みを考えていく（東海大学 OB の技術士第二次試験受験者は多いが合格率を高める必要がある）。

(3) 次回役員会開催

- ・開催日時：5月31日（土）16時～

以上